

伊藤大使によるアディスアベバ大学での一般講義

22日、伊藤エチオピア大使はアディスアベバ大学にて、「世界およびアフリカにおける日本の外交政策」について講義を行いました。国際関係論や外交に関心のある約150名の学生や教授、研究者等が出席しました。

講義内容としては、①人口、国土、GDP、エネルギー生産の構成、貿易、産業、国家予算等においてエチオピアと日本を比較し、外交政策上の重要事項を確認、②第二次世界大戦後の平和国家としての日本外交の展望と、近年の国際社会における力学の変化について説明しました。さらに、③日本と近隣諸国との関係や未解決の諸問題についても紹介しました。また④日エチオピア関係の歴史にも触れつつ、日本による対エチオピア支援等について紹介した上で、FOIP (Free and Open Indo-Pacific Strategy) やTICAD8の成果についても触れ、日本の対アフリカ外交につき説明しました。

参加者からは、日本の民主主義の立場や考えはどれほど欧米と一致または近いのか、米中経済対立における日本の立場は何か、近隣国である中国よりも米国との距離が近いのはなぜか、トヨタを始めとする自動車産業での対エチオピア投資は行われぬのか、対韓国や台湾に対する技術支援のように日本は対エチオピア技術支援を行わないのか等、興味深い質問が多く出されました。



伊藤大使による講義



観衆の様子



質問する学生



集合写真